

国際ロータリー第2650地区
2016-17 会長エレクト研修セミナー 2016.3.12

クラブの戦略計画 について 元気なクラブづくりの第一歩

国際ロータリー第2840地区(群馬)
パストガバナー 本田 博己(前橋)

私のプロフィール

本田 博己(ほんだ ひろき)
1950年3月生 大分県別府市出身
群馬ヤクルト販売㈱ 代表取締役会長(職業分類:乳製品販売)

【ロータリー歴】

クラブ(前橋ロータリークラブ)

1996年5月 前橋ロータリークラブ 入会
2003-06年 21世紀特別委員会 副委員長(3期)
2010-11年 会長

地区(2840 群馬)

2003年~ 会員増強・退会防止委員会 委員長、管理運営委員会
委員長、研修委員会 委員等 歴任
2013-14年 地区ガバナー
2015年~ 地区研修リーダー(研修委員会委員長)・RLI推進委員長

全国

2015-18年 ローター・リーダーシップ研究会(RLI)日本支部
カリキュラム委員会 副委員長
2015年~ 日本のロータリー100周年ビジョン策定特別委員会 委員

このセッションの目標

1. RIの「戦略計画」に盛り込まれた、現代ロータリーの課題を確認し、自クラブで「戦略計画」を立案・推進することの意義を考える。
2. 「元気なクラブづくり」の先例に学ぶ。
3. クラブ戦略計画の立案・推進の手順とポイントを考える。

Rotary

戦略計画

価値観を行動に

私たちは、**親睦**を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。
私たちは**高潔性**をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。
多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。
私たちは、**専任**を通じて**リーダーシップ**と職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。

→別冊資料「ロータリー基本マニュアル」15~16ページ



私たちは責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を解決するために行動します。

中核的価値観: Core Values

1. 奉仕 *Service*
2. 親睦 *Fellowship*
3. 多様性 *Diversity*
4. 高潔性 *Integrity*
5. リーダーシップ *Leadership*



戦略的目標

クラブのサポートと強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- ・会員基盤の多様性を奨励する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する

人道的奉仕の重点化と増加

- ・ボリオを推進する
- ・青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める
- ・他団体との協力やつながりを深める
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを生み出す

公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核的価値観を推進する
- ・職業奉仕を奨励する
- ・ネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励する

戦略的目標

1. クラブのサポートと強化

Support and Strengthen Clubs

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・さまざまな奉仕活動への参加を奨励する
- ・会員基盤の多様性を奨励する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ダイナミックな新クラブを結成する
- ・クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する



クラブがさらに飛躍するために

1. クラブの5年後の姿を思い描く
2. 年度目標を立て、ロータリークラブ・セントラル に入力する
3. クラブ協議会を通じて全会員の積極的参加を促し、情報を伝える
4. クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る
5. 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る
6. クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する
7. 会員同士の交流を深める
8. 会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする
9. ロータリーのリーダーとなる人材を育てる
10. クラブ運営に必要な委員会を設置する

活気あるクラブとなるためのベストプラクティス

- ・クラブに活気をもたらすための長期計画を立てる
- ・ロータリークラブ・セントラルで、クラブの長期目標を支える年次目標を立てる
- ・会員の積極的な参加を促し、情報を伝えるためのクラブ協議会を開く
- ・クラブ会長、理事会、委員会委員長、会員、地区ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会が、互いに、また、事務局と効果的にコミュニケーションを取る
- ・5月末までにdata@rotary.orgに次年度のクラブ役員を報告
- ・後継者の準備および未来のリーダーの育成を通じて、クラブの長期的な安定を図る
- ・現在のクラブの慣習を反映させて細則を修正する
- ・会員のための親睦行事を開き、友情を育む
- ・全会員がクラブのプロジェクトや役割に積極的に参加する
- ・定期的に一貫した研修を会員に提供する
- ・クラブのニーズに基づく委員会を設置する

『2013年手続要覧』 3ページ

* CLPにおける 9段階の実行策

- ① 長期計画の立案
- ② 年度目標の設定
- ③ クラブ協議会での情報提供
- ④ クラブ内および地区・クラブ間の意思疎通
- ⑤ クラブ指導者の育成と継続性の確保
- ⑥ 委員会構成とクラブ細則の変更
- ⑦ 親睦の機会
- ⑧ 奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加
- ⑨ 包括的な研修企画

(2005年当時の CLP)

クラブがさらに飛躍するために

1. クラブの5年後の姿を思い描く
2. 年度目標を立て、**ロータリークラブ・セントラル** に入力する
3. クラブ協議会を通じて全会員の積極的参加を促し、情報を伝える
4. クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る
5. 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る
6. クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する
7. 会員同士の交流を深める
8. 会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする
9. ロータリーのリーダーとなる人材を育てる
10. クラブ運営に必要な委員会を設置する

クラブの戦略計画 (長期計画)の検討は、 クラブの現状を把握する ことから始まります

討論のための質問 1

自クラブの現状認識を深めましょう

- ① あなたのクラブが直面している大きな課題は何ですか？
- ② 課題解決のために、会長年度に、何か挑戦しようと考えていることはありますか？

- ◎ 会員数の減少が止まらない
 - ◎ クラブの活力が失われている
 - ◎ 会員間に意識のギャップがある
(ロータリー歴、役職、…)
 - ◎ 親睦の機会が少なすぎる(or 多すぎる)
 - ◎ ロータリーのことをよく知らない(関心がない)会員が増えている
 - ◎ 奉仕活動がマンネリ化している(新しい奉仕プロジェクトを開発したい)
 - ◎ 地区内外の他クラブとの交流をもっと活発にしたい
-

クラブ戦略計画の
立案と推進が
課題解決の
突破口になります！



あなたのクラブは「元気」ですか

ご自分のクラブについて考えてみてください。
 楽しく、活気に満ちていますか？
 会員の積極的な参加と新しいアイデアを奨励し、全員の個性や職業を生かして実りある活動を実施していますか？この手引きは、これまでに成功したヒントやアイデアを紹介し、クラブがさらに飛躍するためのプランを立てる参考としていただくことを目的としています。「いいクラブ」から一歩その先を目指して、全会員がクラブの未来を形づくり、クラブと地域社会に貢献していると実感できるような元気なクラブをつくるために。



**前橋ロータリークラブの
 元気なクラブづくりの
 事例をご紹介します。**



前橋RC 21世紀委員会活動

2003年12月：「前橋RC 21世紀特別
 委員会」(通称：21世紀委員会)の創設。

- ① 前橋RC創立50周年の節目に、クラブの現状を総点検する。
- ② 2003-04年度 森田ガバナーが提唱した「魅力あるロータリーづくり」に呼応。
- ③ 会員各層参加のプロジェクト。

更なるスタート 50年
—「歴史と伝統」を超えて—

クラブ改革提言

国際ロータリー第2840地区
前橋ロータリークラブ
21世紀特別委員会 報告書

2004年6月30日

第1期クラブ改革提言の内容

《クラブ改革の目標》

会員が充実したロータリーライフを享受することができ、かつ社会的評価（存在価値）の高いクラブに**再生**する。

《改革の方向性》

長期的なビジョン・戦略を定め、年度を超えて**継続的に改革**を推進する。

第1期クラブ改革提言の内容

《具体的提言》

1. ロータリー理念を共有化する。

- ① 全会員対象の**ロータリー勉強会**を定例化する
- ② **新会員へのオリエンテーション**を強化する
- ③ 会員の自発的な勉強会を奨励する

2. 例会を充実させる。

- ① 出席が楽しみな例会にする
- ② オープンなコミュニケーションの場とする
- ③ クラブ・フォーラムを活用する

第1期クラブ改革提言の内容

3. 委員会活動を活発にする。

- ① 委員会を**統合・再編**し、活動を強化する
- ② 活動・事業内容は、**毎年見直す仕組み**を作る
- ③ 「現況報告書」を事業計画書として充実させる

4. 地域社会との関わり合いを深める。

- ① 常に市民の声を聴き、**新奉仕プロジェクトを開発**する
- ② **近隣クラブ・地区との連携**を強化する

第1期クラブ改革提言の内容

5. 組織運営を活性化する。

- ① **理事会強化・クラブ協議会**の活用など**リーダーシップ**機能を高める
- ② 効果的な予算づくりの仕組みを作る
- ③ 職業分類表を整備し、「**会員増強**」（組織強化）に活用する
- ④ 『**会員満足度アンケート**』を継続実施し、**会員満足度を高めてゆく**

この「クラブ改革提言」（2004年6月）のポイントが、**クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の「9段階の実行策」（2005年1月RI理事会発表）と不思議に符合していた！**

* CLPにおける 9段階の実行策

- ① 長期計画の立案
- ② 年度目標の設定
- ③ クラブ協議会での情報提供
- ④ クラブ内および地区・クラブ間の意思疎通
- ⑤ クラブ指導者の育成と継続性の確保
- ⑥ 委員会構成とクラブ細則の変更
- ⑦ 親睦の機会
- ⑧ 奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加
- ⑨ 包括的な研修企画

(2005年当時の CLP)

21世紀委員会の「クラブ改革提言」とクラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)における「9段階の実行策」の符合は、世界のロータリークラブが直面している課題の共通性を表している！

→ **クラブ活力の再生**
Revitalize

第1ステップ クラブの現状を 把握する

「クラブ活カテスト」の実施 (組織としての現状把握)

クラブ活カテスト (2005~2006年度版)

この「クラブ活カテスト」は、あなたのクラブの組織活性化度を勝手に自己診断し、問題解決の方向性やポイントを知るためのものです。以下の全25の質問にお答えください。各質問には、5つの選択肢（評価）があります。あなたの主観で結構ですので、早速にもっと近いと思う評価に○を付けてください。(別紙「評価集計表」に記入) 制限時間はありませんが、15分程度で記入・集計をお願いします。「活用の手引き」の、評価のガイドラインや運用基準を確認して、自己診断してください。

1. 理念・方針の浸透とリーダーシップ
 - (1) あなたのクラブの会員は、ロータリーの「奉仕の理想」の理念やロータリーの存在意義を認識し、その価値観を共有していますか。
 - 4: 会員が理念を十分に認識し、共通の価値観を持っている。
 - 3: 多くの会員が理念を認識し、共通の価値観を持っている。
 - 2: 多くの会員は、理念は言葉では知っていても、関心は薄い。
 - 1: 理念を認識する会員は少なく、認識に差がある。
 - 0: ほとんどの会員は、ロータリーの理念や存在意義にまったく関心がない。
 - (2) あなたのクラブの将来像(あるべき姿)は明確になっていますか。またはそれは、会員の共通認識になっていますか。
 - 4: 将来像は明確で、全員であるべきクラブづくりに取り組んでいる。
 - 3: クラブの現状を認識し、将来像づくりに取り組んでいる。
 - 2: 現状に対する危機感はあるが、対応できていない。
 - 1: 多くの会員が現状に満足し、何をする必要はないと思っている。
 - 0: ほとんどの会員は、クラブの将来像を考えたことがない。
 - (3) クラブ指導者(理事・役員・委員長)は、ロータリーの理念やクラブ運営方針を会員に納得、共有してもらうために、率先して会員間・指導者間のコミュニケーションを図っていますか。
 - 4: 幹部の連携は十分で、あらゆる機会に効果的に働きかけている。
 - 3: 意識的に働きかけている。
 - 2: 働きかけているが、部分的で、個別対応に留まる。
 - 1: 意識はあるが、場合ごとのにしら働きかけていない。
 - 0: 働きかけていない。その意識がない。

2. 組織運営

3. 財政管理

4. 会員管理

5. 広報活動

6. 地域貢献

7. 国際交流

8. 委員会活動

9. 親睦活動

10. 研修活動

11. 奉仕活動

12. 青少年活動

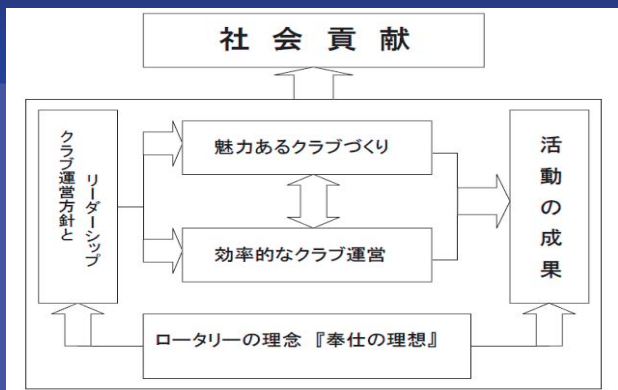
13. 女性活動

14. 高齢者活動

15. その他

「クラブ活カテスト」 (クラブ組織の自己診断)

〈フレームワーク〉



＜表4. 総合評価ガイドライン＞

合計点	レベル	クラブの現状	対策 (アドバイス)
88点以上	A	あなたのクラブは、すべての領域において、体系的・効率的で活力に満ちた運営が行われています。卓越した理念と活動・実績で、他クラブの	リーダークラブとして、他クラブや地区・RIそして地域社会に対して積極的に情報発信や価値を提供することを期待しています。今後も組織強
38~62点	C	あなたのクラブは、ロータリーの理念に沿った活動を実施しており、一定の成果も上げていますが、一部の領域で硬直化が進み、メンバーの意識にもばらつきが見られます。	クラブの強みと弱みをメンバー全員で再確認し、体質改善・組織強化の中長期計画を策定し、それに基づいて、具体的プログラムを実施しましょう。メンバーのロータリアンとしての研鑽・学習にも力を入れてください。
12点以下	E	あなたのクラブは、極度に硬直化し、機能が完全に麻痺しています。組織としては既に崩壊した状態で、メンバーの気持ちは、ばらばらです。	メンバーの志を再確認し、抜本的な組織の再構築を行う必要があります。地区・ガバナー補佐の全面的な支援を仰いでください。

前橋RCの自己評価は、Cレベル

「会員満足度アンケート」の実施 (2004~06)

会員満足度アンケート

国際ロータリー第2840地区 ○○ロータリークラブ

このアンケートは、会員の、クラブの活動・運営に対する満足度を知らするためのものです。クラブ運営改善の基礎資料となりますので、会員の皆様全員に記入をお願いしています。無記入ですので、平直なご意見をお聞かせください。(以下の質問の該当する項目に印を付けてください。)

1. あなたは、○○ロータリークラブに入会されている(歓迎されている)と感じますか。
 はい いいえ

1-2 「いいえ」の場合、どうしてですか。(該当する項目すべてに印を付けてください)
 クラブが積極的である 他の会員は自分とは真実であると感ずる
 自分が他の会員と交流する努力をしていない
 他の会員が私と交流する努力をしていない
 その他の理由(具体的に)

2. あなたは、○○ロータリークラブの組織としての現状をどう思いますか。(該当する項目すべてに印を付けてください)
 現状に満足している 現状に不満な点がある
 団体に活動している 活動はあまり活発ではない
 自由闊達でオープンな風土がある 何事も当たり障りない意見が通る
 明るく打ち解けた雰囲気である 堅苦しくつまらない雰囲気である
 閉鎖主義である 変化に柔軟に対応し、新しい状況に積極的である
 その他

3. ○○ロータリークラブが、RI や地区の提唱する、下記の活動に参加している度合いについてどう思いますか。

活動の種類	クラブの参加の度合い
新会員勧誘	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない
会員のためのクラブのケアと教育	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない
地区への奉仕プロジェクト	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない
国際的奉仕プロジェクト	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない
クラブの広報活動	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない
奉仕活動	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない
ロータリー財団活動	<input type="checkbox"/> 過度 <input type="checkbox"/> 適度 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> わからない

「会員満足度アンケート」の主な質問項目

- 前橋RCの組織としての現状
- クラブとしての活動度合い(新会員勧誘、会員教育、地域社会に対する奉仕プロジェクト、国際的奉仕プロジェクト、ロータリー財団・米山奨学会への協力、...)
- 前橋RCの活動に対する会員自身の参加状況(例会、委員会活動、会員増強、会員教育、奉仕プロジェクト、R財団・米山、広報、親睦、...)
- クラブの活動・プロジェクトへの参加に対する満足度
- 活動の費用に対する負担感
- 例会の満足度と魅力的な例会への提案

「会員満足度アンケート」・「クラブ活カテスト」の結果は



1. 会員はクラブと自分自身の現状に必ずしも十分に満足してはいない。
2. クラブは、組織とその運営に関して、改善すべき点が多々ある。
3. 私たちは、ロータリーの理念や、国際ロータリーの(諸活動の)意義について、知らないことが多い(勉強不足である)。

第2ステップ

クラブのビジョン・戦略を定めてゆく

討論のための質問 2 クラブのビジョン・戦略

- ① 私たちはどのようなクラブを目指すべきか？
(理想のクラブ像とは?)
- ② 私たちはどのようなロータリアンを目指すべきか？
(理想の会員像とは?)

理想のクラブ像の検討

クラブの理想 (16項目)

1. 明るく活気に満ちた組織風土である。
2. 会員のニーズに適った会員本意の運営を行っている。
3. 会員は、充実したロータリーライフを享受し、満足度が高い。
4. 地域社会に存在価値を認められている。
5. 例会や委員会活動が活発である。

理想のクラブ像の検討

クラブの理想

6. 理事会がリーダーシップを発揮している。
7. 入会を希望する会員候補者が多い。
8. 会員に多様な「奉仕の機会」を提供できる。
9. クラブ独自の奉仕プログラムを持っている。
10. 職業人同士の事業上の発想の交換が活発に行われている。
11. 会員の学習と成長の環境が整っている。
12. 親睦と友情を育む機会がある。

理想のクラブ像の検討

クラブの理想

13. バランスのとれた職業構成が保たれている。
14. 会員基盤が安定しており、成長力がある。
15. 「歴史と伝統」に安住せず、また前例にとらわれず、内外の環境変化に対応し、新しい試みに挑戦している。
16. 指導者を養成したり、有益な情報・実例を発信したりできる、他の模範となるリーディング・クラブである。

理想の会員像の検討

会員の理想(真のロータリアン)〈10項目〉

1. 善良な市民である。
2. ロータリーの「奉仕の理念」を深く理解し、信奉している。
3. 高い職業倫理を持ち、自らの事業の社会的価値の向上に努めている。
4. 学習意欲が旺盛で、人間的成長を続けている。
5. クラブ外の社会で、積極的に奉仕の実践を行っている。

理想の会員像の検討

会員の理想(真のロータリアン)

6. 会員同士の親睦と友情を大切にする。
7. クラブ奉仕へ積極的に参加している。
8. 国際ロータリー提唱の奉仕プロジェクトへ、積極的に参加している。
9. ロータリー財団や米山奨学会へ、積極的に協力している。
10. クラブを超えた指導力を身につけるよう努力している。

更なるスタート 50年
—「歴史と伝統」を超えて—

クラブ改革提言

国際ロータリー第2840地区
前橋ロータリークラブ
21世紀特別委員会 報告書

2004年6月30日

21世紀委員会 第1期活動

2004年1月～6月
(委員会9回実施)

- 2004年2月: 第1回会員満足度アンケート実施
: 「クラブ活カテスト」の実施
- 2004年3月: ロータリー理念勉強会の開催
- 2004年4月: 「クラブ・会員の理想像」作成
- 2005年6月: 第1期報告書
(クラブ改革提言)

入りて学び出でて奉仕せよ

ロータリーライフを楽しもう

クラブ改革提言Ⅱ

21世紀特別委員会 PartⅡ 報告書
国際ロータリー第2840地区
前橋ロータリークラブ

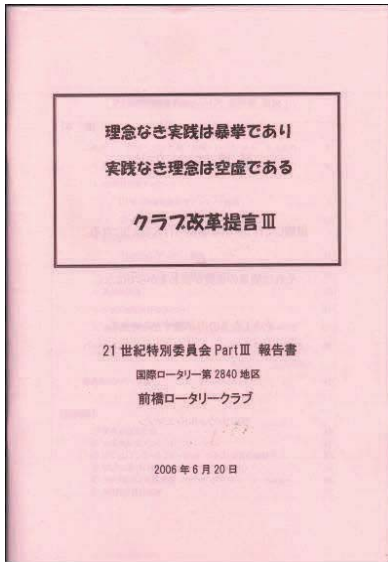
2005年4月26日

21世紀委員会 第2期活動

2004年11月
～2005年4月
(委員会9回実施)

テーマ: 委員会活動の活性化
: 組織の活性化
: 社会奉仕と広報

- 2005年2月: 第2回会員満足度アンケート実施
: クラブ細則改定の検討
- 2005年4月: 第2期報告書
(クラブ改革提言Ⅱ)



21世紀委員会 第3期活動

2005年10月
～2006年4月
(委員会7回実施)

テーマ: 改定クラブ細則内容検討
: あるべきロータリー像検討
: クラブ改革提言総括

2006年2月: 第3回会員満足度アンケート実施
: ビジョンアンケート実施

2006年4月: ビジョンを語る座談会3回実施

2006年6月: 第3期報告書
(クラブ改革提言Ⅲ)

2004年～2006年 21世紀委員会活動 の成果は、...

会員満足度の向上 (2004年→2006年)

〈第1回～第3回「会員満足度アンケート」結果比較分析〉

1. クラブ組織の現状に対する会員の評価が大幅に高まった。
2. RI や地区が提唱する諸活動への関心・理解が深まった。(関わる意識が高まった)
3. クラブの諸活動に積極的(主体的)に参加するようになった。
4. クラブの活動やプロジェクトへの参加の(会員自身の)満足度が高まった。

〈第1回～第3回「会員満足度アンケート」結果比較分析〉

5. 会費やロータリー財団・米山奨学会への寄付金の負担感が減った。
6. 会員は毎週の例会を楽しんでいる。
7. 会員はクラブの会合を改善することに意欲的である。
8. 会員家族のロータリーに対する関心が高まった。

なぜ会員満足度が向上したか (2004年→2006年)

1. アンケートを定期的実施し、結果を会員にフィードバックし、問題意識を共有化した。
2. 実行可能な改善(例会の充実など)は、即実行した。
3. 改革提言をもとに、全員参加の新奉仕プロジェクトを開始した。
4. 3年間の各年度会長のリーダーシップのもと、継続的・具体的なクラブ改革運動を推進した。

成果の総括

1. クラブの現状の問題点・課題・危機感、そしてビジョンを共有することで会員の一体感が高まる。
2. ロータリー理念やRIの活動・プログラムに対する理解が深まれば、会員のロータリーへの帰属意識・参加意欲が高まる。

成果の総括

3. 例会・委員会活動や奉仕プロジェクトに主体的に参加すれば(主体的に参加できる機会を多く用意すれば)会員満足度は高まる。
4. 一人一人の会員の満足度(充実感、参画意識、やりがい)を高めて行けば、クラブ全体の組織活力が高まり、元気なクラブになる。

成果の総括

会員満足の上昇に
継続的に取り組めば、
クラブ組織は
強化できる！

* 会員数増大の公式 (RI)

会員数の増大

membership = E+3R

Extend 拡大(新クラブ)
Recruit 新会員の勧誘
Retain 会員維持
Revitalize 再活性化

Rotary International 11/03

Membership Development 「会員増強」とは

1. クラブ組織の強化
2. 会員一人一人のロータリアンとしての資質・能力の開発
3. 活動の結果としての
会員数の増大

「会員増強」の好循環

「会員増強」= 会員組織強化

↓
クラブの活性化(元気回復)

↓
魅力的なロータリークラブ

「会員増強」を一言で表現すれば、...

「仲間を増やすこと」

「仲間」= *Fellows* → Fellowship

共に「奉仕の理念(理想)」を信じ、
ロータリーの諸活動に積極的に
参加する「仲間」を増やすこと。

前橋ロータリークラブ 元気なクラブづくりの現状(2016年現在)

1. 「会員満足度アンケート」の
定期的継続実施
2. 「クラブ長期戦略計画委員会」の設置
3. グローバル補助金申請事業への挑戦
4. 区内6クラブ合同奉仕プロジェクト
(前橋学校フェスタ)の主管
5. 新会員研修(年2回)の実施
6. 友好クラブ(新潟、水戸)との定期交流

「会員増強」=会員組織強化



前橋ロータリークラブ 会員数の推移

	2003年7月1日	2016年1月1日
会員数	98人	→ 117人
内女性会員	3人	→ 10人
平均年齢	60.3歳	60.7歳

「元気なクラブづくり」とは、 クラブの「理想」と「現実」の ギャップを埋めてゆくこと

為すべきことは、...

ギャップを埋めて
ゆく場としての、
例会・奉仕活動

理想の
クラブ・会員像

継続的
改革
会員満足向上

問題だらけの
現実

元気なクラブづくり
学習と実践
相互研鑽

クラブ戦略計画の立案は、 元気なクラブづくりの第一歩

→別冊資料「ロータリー基本マニュアル」P99~102
「クラブ戦略計画の立案ガイド」

《戦略計画立案のプロセス》

1. クラブの現状はどうか
2. クラブは何を目指しているのか
3. どのように目標を達成できるか
4. 目標に向けての進捗はどうか

まとめ:クラブ戦略計画立案・ 推進のポイント

1. クラブ指導者がクラブの現状を真摯に
把握・分析する
2. みんなで希望に満ちたクラブの将来像
を描く
3. 会員満足度アンケートを定期的に実施
し、事業計画に反映する
4. 年度を超えて継続的に改革に取り組む
(会長以外、会長パニーも参画する)

“希望”を語ろう！

「希望」とは、
私たちの可能性を信じること

ワクワクするような
ビジョン(クラブの将来像)を、
みんなで考えましょう！！

国際ロータリー第2650地区
2016-17 会長エレクト研修セミナー 2016.3.12

クラブの戦略計画 について 元気なクラブづくりの第一歩

あなたのクラブで、クラブの将来像についての議論が活発になり、ビジョンを共有した仲間とともに、クラブ活力再生の取り組みが一層進むことを期待しています。

RID2840/パストガバナー 本田 博己(前橋)